

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 准教授 公募
「募集要領」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、下記のとおり准教授(教育職)の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 公募職種及び人数: 准教授(教育職) 1名
2. 配属予定部署: 宇宙科学研究所 太陽系科学研究系

3. 職務内容及び求める人物像:

宇宙科学研究所は「その場」観測や地球軌道からの望遠鏡観測など、日本独自あるいは国際協力による長年の継続的な衛星観測により太陽観測、大気科学、磁気圏プラズマなどの太陽圏科学において独自の成果を生み出してきました。これらの宇宙科学プログラムを推進してきた太陽系科学研究系では、宇宙空間での「その場」観測を主な手段とする、地球を含む太陽系天体についての学術研究、すなわち、衛星データに基づく観測的研究、関連する理論的研究と、それら実現するための探査計画の企画と遂行、及び、新しい飛翔体搭載科学機器の開発を進めています。特に惑星周辺物質の「その場」質量分析や重力天体への着陸探査における「その場」物質探査によって宇宙に存在する物質を特定し、その分布と量を計測して起源や変遷を明らかにすることは、将来の太陽系探査科学における最重要項目の一つとして位置付けられています。これを解決するためには、惑星物質の主要な存在形態である中性粒子の質量分析を行うことが重要です。

今回募集する准教授には、新しい飛翔体搭載科学機器の開発、特に飛翔体搭載用「その場」中性粒子質量分析器の開発にあたることを期待しています。また、飛翔体搭載用「その場」中性粒子質量分析器の開発を進めていく上で必須となる、地上試験設備の構築を同時に進めることも期待しています。更に、自ら開発する飛翔体搭載用「その場」中性粒子質量分析器以外の「その場」観測機器についても、それらの搭載化に貢献する搭載機器インテグレータとしての役割を期待しています。

そのために、少なくとも以下の業務を担当していただきます。

- 科学衛星や探査機などの飛翔体搭載用「その場」中性粒子質量分析器の基礎開発から搭載までの全フェーズにわたる開発を他大学の研究者や宇宙研工学と共に、メーカーを含む機器開発グループを主導することにより実施すること。
- 飛翔体搭載用「その場」中性粒子質量分析器の開発において必要となる地上試験設備の構築を主導すること。
- 自ら開発する中性粒子質量分析器以外の「その場」観測機器についても、それらの搭載化に貢献する搭載機器インテグレータとしての役割を果たすこと。

- 「その場」中性粒子質量分析器を用いた、将来の太陽系科学探査ミッションの企画検討を牽引すること。

さらに、ISAS/JAXA が持つ大学共同利用の役割を理解し、大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに、大学院学生の教育・指導にも十分な能力のある方を求めます。また、狭義の専門分野にとらわれることなく JAXA 内各種活動に積極的に参加し、専門研究能力を生かして様々な研究開発やプロジェクトに貢献できる意欲あふれる人材を求めます。

このような業務に鑑み、今回募集する准教授は、少なくとも次の条件を満たすものとします。

- 地球を含む惑星探査における「その場」観測に関する学識と研究経験を有し、かつ、質量分析器または類似の装置開発の経験を有すること。
- 装置開発を行うために必要となる実験室設備の構築、整備経験を有すること。
- 理学・工学連携の場面で活躍する学際性を有すること。
- 大学院学生の教育・指導を実施するだけの能力を有すること。

4. 待遇

- (1) 給与：能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。
- (2) 休日・休暇：完全週休 2 日制、祝祭日、年末年始、年次有給、夏季、慶弔、産前産後、育児、介護、看護、ボランティア等
- (3) 始業、終業時刻、休憩時間：原則、始業午前 9 時 30 分、終業午後 5 時 45 分、うち、午後 0 時 15 分から午後 1 時まで休憩時間(ただし専門業務型裁量労働制を適用する)
- (4) 所定労働時間を超える労働の有無：有(ただし、専門業務型裁量労働制を適用し、1 日のみなし勤務時間を 7 時間 30 分とする)
- (5) 勤務地：相模原キャンパス
- (6) 任期・定年：任期なし。63 歳定年制。
- (7) 保有・借上宿舍の貸与：機構の規定により業務の必要性を鑑み独身用または世帯用を用意することができる。(ただし、同一の宿舍に継続して入居できる期間は 7 年を限度とする。)もしくは住居手当の支給が可能。
- (8) 社会保険：各種社会保険完備(健康保険、厚生年金保険等)

5. 応募資格：博士号を有すること

6. 着任時期：決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります。

7. 提出書類：

- (1) 履歴書
 - (2) 研究歴
 - (3) これまでの研究概要
 - (4) 論文リスト
 - (5) 今後の研究計画(機器開発への貢献と教育活動についての抱負を含む。**特に上に挙げた職務内容を念頭に研究計画を述べること。**)
 - (6) 外部研究資金獲得実績(外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること)
 - (7) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方 2 名、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方 2 名の氏名と所属、連絡先(電話番号、電子メールアドレス)
 - (8) 主要論文の別刷り 5 編以内(査読付き学術誌に掲載されたものに限る)
- ※以下は欧州経済領域(EU 圏)在住者のみ、提出してください。
- (9) EU 一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱いに関する同意書(様式1) 8. 提出方法の Web サイトから電子的方法によりダウンロードしてください。

8. 提出方法

下記 Web サイトから電子的方法により提出してください。

<https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1533623787>

提出にあたっては、上記 web サイト上の指示に従って下さい。

upload していただくファイルは全て pdf 形式となります。特に、提出書類(2)から(6)は一つの pdf にまとめていただきます。

他薦の場合、推薦者にて直接、推薦書の web サイトへの upload をお願いすることになります。(入力いただいた推薦者のメールアドレスあてに依頼メールが自動送付されます)なお、郵送又は持参での提出は、原則として受理できません。

9. 応募締め切り:

Web 入力及び(「他薦」の場合は推薦者による「推薦書」を含む)全ての必要書類提出について

2018 年 10 月 15 日(月) 9 時 30 分(日本時間) 必着

応募者は、お早めに上記 web サイトにアクセスの上、応募書類(「他薦」の場合の「推薦書」を含む)の提出方法を確認しておいてください。

応募締切直前に応募の場合、推薦者が「推薦書」を提出できる期間も短くなりますので、ご注意ください。

10. 問い合わせ先:宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

太陽系科学研究系 研究主幹 齋藤 義文
電話:050-3362-4632 E-mail: saito.yoshifumi@jaxa.jp

ただし、上記「8.提出方法」に関する問い合わせ先:
科学推進部人事担当
電話: 050-3362-2695 E-mail: ISAS-JINJI @ml.jaxa.jp

11. その他: 選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。
また、選考に伴い 発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。
宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

<個人情報の利用目的について> 宇宙航空研究開発機構の職員の公募に関連して提供された個人情報については、採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄いたします。

※<EU 一般データ保護規則 (GDPR) に基づく個人情報の取扱いに関する同意書>

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」と言う。)は、採用活動及び人事管理のため、個人情報をご提供頂く必要があります、また、上記業務の履行のため JAXA と契約関係にある第三者へ提供することに同意を頂く必要があります。

ご提供頂く当該個人情報の取り扱いに関し、JAXA は、プライバシー及び個人情報保護の重要性を認識し、情報管理者として個人情報保護に関する法令、特に、1978年1月6日の法律第78-17号(Data Protection Act)及び2018年5月25日より施行された2016年4月27日のEU一般データ保護規則第2016/679号 (General Data Protection Regulatory-GDPR)を遵守します。